

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山昭和校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		少し活動に狭さがあるが適切と感じている。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			適切であると感じている。配置の条件も満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	2	校舎が階段を上がらなくてはいけない構造になっているためバリアフリーの難しさが見られている。今後話し合いながら改善に繋げていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		ミーティングなどを通して、職員同士話し合いながら支援や運営の改善に繋げている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			アンケート調査を行い、事業者内で話し合いながら改善点を出し合いながら改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			自己評価の結果を事業部で公開しながら保護者様にも見て頂いている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			監査を通し、事業者内だけでなく第三者から見た評価を受けて改善に繋げている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			職員同士時間を調整しながら、全員が研修に参加できるように取り組んでいる。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			アセスメントシートを活用し、職員同士話し合いながら計画の作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			一年に一度アセスメントシートを作成しながら、利用者の発達に合わせた支援に繋げている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			職員同士活動プログラムを話し合いながら、利用者の目標に沿ったプログラムを立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			職員同士の情報共有や研修などで得た知識を活用しながらプログラムを作成している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		利用者の状況を含めて、その日の様子も見ながら課題の調整を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			モニタリング会議を開き職員全体で利用者の状況など踏まえて話し合いながら計画を立てている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		ミーティングなどを通し支援打ち合わせや役割分担を全体で確認している。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		支援終了後は職員全体と支援や利用者について情報共有を行っている。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			日々の支援記録を取る中で振り返りを行いながら支援の改善に繋げている。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			支援内容や達成感を評価し、提示させていただいています。その内容をもとに利用者様や保護者様の意向を確認し、計画の見直しをしています。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	6			創作活動や余暇活動等を通して、利用者様の自己肯定感を育めるような支援を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			保護者様へ担当者会議でお伝えする内容を情報共有させていただきながら、主に児発管が担当者会議へ出席しております。
	⑮	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		1	保護者様からの意向がある場合に、事業所での経過を学校等へ共有させていただいています。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2		令和5年1月現在、医療的ケアが必要な利用者様はいませんが、必要時は医療との連携をさせていただきます。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			実際に利用者様が通う保育施設との情報共有を行えているところもあります。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5		1	現状では、障害福祉サービスへの移行を検討している利用者様はいませんが、必要時はご相談させていただきます。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			市等で行われている研修や報告会に参加し、助言や研修を受けています。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	現状、その機会をご提供できていませんが、今後更に児童クラブ等への周囲を図っていきたいと考えています。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1		年4回の開催がされていますが、その際に他事業所との意見交換をしています。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			支援終了後のフィードバックの時間を設けていたフィードバックが難しい保護者様には、紙面でお伝えをしている。
保護者への説明責任	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	3	まだペアレントトレーニングを行う環境が整っていないため、今後、研修等を受け、対応できるようにしていく。
	㉔	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		契約時に保護者様と紙面で確認しながら説明をしている。
	㉕	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			お聞きした際にその都度返事をしたり、他の職員と共有をし、より良い対応ができるように努めている。

任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	2	内部向けの交流会は催していないため、今後、支援中等に開催出来ないかを検討をしている。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	1	ご意見があったことについて職員間で情報を共有し、対応している。判断に悩んだ場合は、上司に指示を仰いでいる。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			SNSで発信をしているがまだ見たことがない保護者様もいらっしゃるため、周知していく。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報は鍵付き書庫に保存している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			1人1人に合わせた対応をその都度検討している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	1	外部向けイベントを開催している。兄弟間でのイベント参加もある。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			保護者様には契約時に説明をしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			様々な災害を想定した避難訓練を毎月一回行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			毎年、虐待防止の研修を受けている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			計画書にも記載をし、口頭でも説明をしている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		食物を扱う機会は少ないが、アレルギーの有無は保護者様に確認をしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ファイリングされており、各々確認をしている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

公表：2023年 2月 15日

事業所名:こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山昭和校
合： 57 %

保護者等数(児童数):23 回収数:13 割

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	5	1	ご不便をお掛け致しますが、郡山市に届け出しているスペースで活動させていただいています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	13			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	7	5	表題について、協議会の際に他事業所との意見交換をしていきます。また、児童館等にポスターでイベントの周知を図っていきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	4	3	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	4	3	お子さんの年齢に近い保護者様同士で相談できる環境を調整していきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	4		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	3		
非常時等の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	13			
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	3		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2		

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	13			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	13			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。